

# 横須賀市議会議員 長谷川昇 市政報告



2015年4月～横須賀市議会議員二期目当選  
所属:都市整備常任委員会  
所属会派:「研 政」  
事務所〒238-0012横須賀市安浦町2-33-1-102  
TEL:080-4383-1633 fax 046-854-9529  
E-Mail:hasedon2@gmail.com  
はせどんホームページ  
<http://hasedon.info/>



## 横須賀市議会3月定例会報告

### 新年度予算一般会計1665億円 26年ぶりの大型予算。

3月定例会は2月26日から始まり代表質問・個人質問の後、新年度予算の審議を4つの常任委員会に分かれて審議をしています。新年度予算は、一般会計は18年度当初比で7.2%増の1665億円で、26年ぶり大型編成です。▼新ごみ処理場(長坂)や中学校給食のための給食センター(平作小跡地)等の建設費が膨らんだほか、子育て支援などの歳出の増。産業振興やスポーツを活用したまちづくりも強化。歳入は法人市民税の減少などが響き、市税収入は0.4%減の598億円。一方、歳出は扶助費が5.5%増で、物件費も4.8%増えました。▼子育て・福祉関連では、保育無償化の関連費用を計上したほか、市役所内に障がい者雇用を目指す拠点を新設するなどの予算が盛り込まれました。☺

### ◆横浜マリノス練習場の久里浜に移転と「代替地」について質問

JR久里浜駅の線路を挟んで西側の「みんなの公園」の場所に、浦賀警察とマリノス本社と練習場・クラブハウスが移設する予定です。都市公園を  
いるか ●都市整備常任委員会での報告や質疑から・・・  
の方向性について質問し、「市民の声を聞きながら進める」との回答を得、「ピオトープの移設を考えている」との回答を得ました。



### ◆2021年4月、横須賀新港と北九州を結ぶ定期フェリーの就航が

横須賀新港から北九州に向けての新航路を開業する。SHK ライングループが運営。1万6000トンのフェリー2隻の就航。夜中の12時に横須賀を出発して20時間で北九州に到着。ほぼ毎日発着。貨物トラック等170台(コンテナのみ)、800人の乗客を輸送可能。主に宅急便の荷物を首都圏から、九州にトラックの陸送よりも低料金で、横須賀は東京湾口なので、速度制限のある東京湾内の影響もなく、ずっと早く運べるのが利点。豪華客船並みの装備で快適な船旅も期待できるとのこと。いいね!☺



### ◆2017年秋の台風の影響で通行止めの「子安の里の市道」の整備

秋谷地区の「子安の里」は、三浦半島でも里山の自然の残る場所であり、四季折々の人気のハイキングスポット。しかし、一昨年の台風の影響による被害によって、道路が陥没したところの災害復旧のめどが未だ立たず、「通行止め」のままとなっています。この件について子安の住民の皆さんの声をもとに度重ねて、要望をしてみました。☺



国や県は山自体が崩れているので復旧は厳しいという回答に終始し、ようやく迂回路の車道の整備が終わりました。しかし「通行止め」の場所がほったらかしでは地域の方の生活道路でもあり、ハイキングコースも中断です。☺



長谷川昇は、子安の市道の早期整備の必要性を指摘し、今後県や国に対しての緊密な連携を要請しました。また、崩落している場所の下側に流れる川が土砂でせき止められていることから、再度崩落する危険もあり、土砂の撤去を要請しました。

## □コラム□田浦・温泉谷戸のアーティスト村で縄文土器!

横須賀、温泉谷戸って知っていますか?田浦泉町の一帯奥の奥。そこに、廃墟になっている市営住宅があります。横須賀市は取り壊す予定を変更し、陶芸家の方など芸術家に住んでもらって「アーティスト村」を作るとして、今年度から予算化して一名、次年度予算にも一名の芸術家の招致を予定しています。先日近くで所用があったので、足を伸ばして訪問させていただきました。田浦小学校の入り口から入って、車で細い道を行くと、田浦梅林の入り口、更にさらに奥。信州の山奥を感じさ



せる自然溢れる場所です。☺

廃墟になっていた市営住宅は、関東学院の生徒さんや、地域の住民の皆さんの力で修復され、素晴らしいリノベーション。第1号の作家、薬王寺太一さんは、横浜から移住してきたそう。昨年12月から住み始め、自然があふれ快適で気に入っているとのこと。アトリエや住

宅が、素敵に仕上がっていました。また、薬王寺さんの作品の土器は、野焼きで焼き上げたものそうだが、力強い作風に感激しました。これからこの場所がどのように広がっていくのか楽しみです。横須賀の名所のひとつになったら素敵なお話です。さらに、秋谷の美域にある粘土が陶芸に良いそうで、使えればとのこと。西海岸とのつながりもできそうです。